

単施設研究用

研究課題名：全身麻酔法が顎矯正手術の術後併発症に与える影響-全静脈麻酔と吸入麻酔法の比較-

1. 研究の対象

2016年4月1日～2021年4月30日に当院歯科口腔外科で全身麻酔下に下顎枝矢状分割術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

顎変形症手術は比較的若い患者に行われることが多く、手術手技を含めた手術中の管理のみならず、術後の管理が術後生活の質に大きく影響します。術後の悪心および嘔吐（以下：PONV）は、全身麻酔手術後の最も不快な体験の1つとされています。顎変形症手術のPONVの発生率は、骨折や抜歯など他の口腔外科手術より高いことが報告されており、発症リスクを低下させることは非常に重要と考えられます。

全身麻酔法には、吸入麻酔薬を用いる方法と点滴による麻酔薬を用いる全静脈麻酔（以下：TIVA）があり、TIVAは吸入麻酔と比較してPONVのリスクを低減することが報告されています。しかしながら、全身麻酔法が顎変形症手術のPONV発生に与える影響は報告が少なく、今回、全身麻酔法がPONV発生にどの程度関係しているかを検証することを目的とします。また、全身麻酔法が麻酔から目覚める際の循環動態（血圧や脈拍）の変化に与える影響をあわせて検証し、安全な周術期麻酔管理や術後生活の質を向上させることに寄与したいと考えています。

今回の研究は患者さんの診療録に記録されている臨床情報と麻酔記録を調査・解析することで全身麻酔法がPONVや循環動態に与える影響を調査します。

・研究期間 研究実施許可日 ～ 2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者ID（情報管理に使用）、年齢、性別、身長、体重、PONV発症の有無
麻酔覚醒前後の血圧・脈拍、喫煙の有無、BMI、手術時間、麻酔方法、麻酔時間
オピオイド総投与量、輸液量、出血量、尿量

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住所：〒849-8501

佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀大学医学部附属病院 歯科口腔外科

担当者： 歯科口腔外科・講師・合島 怜央奈

電話番号： 0952-34-2397

《研究責任者》

佐賀大学医学部附属病院 歯科口腔外科 教授 山下 佳雄

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは当院研究実施許可日より2024年3月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページで掲載しているものです。

臨床研究センターHP <http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/>

なお、この研究内容は、佐賀大学における所定の委員会で審査を受け、承認されたものです。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。